

井の頭池の  
生きもの

# 秋冬の水鳥

秋から冬の井の頭池では、一年中生息している留鳥と、北国や高地で子育てして冬越しのために渡ってくる冬鳥が見られます。近隣の水辺と行き来しているので、見られる数が日ごとに変動します。

## 留鳥

一年中  
生息している鳥



アオサギ Grey Heron



成鳥



幼鳥

ゴイサギ Black-crowned Night Heron



コサギ Little Egret



カイツブリ (冬羽)  
Little Grebe



カワウ Great Cormorant



カルガモ  
Eastern Spot-billed Duck



バン Common Moorhen



カワセミ Common Kingfisher



ハクセキレイ White Wagtail

## 冬鳥

冬越しのために  
渡ってくる鳥



オオバン  
Eurasian Coot



オス

メス



キンクロハジロ  
Tufted Duck



オス

メス



ホラハジロ  
Common Pochard



オス

メス



ハシビロガモ  
Northern Shoveler



オス

メス



マガモ Mallard



オス

メス

オナガガモ Northern Pintail



キセキレイ Grey Wagtail

# 水鳥ウォッチングポイント

こんな場所を探してみよう！



…浅場



## 木の枝、やぶ

サギ類とカワウは枝に止まって休息します。夜行性のゴイサギは、常緑樹の茂みや草やぶに潜んでいます。

## 浅場で羽づくろい

浅い場所や陸地、倒木や杭の上に立って羽づくろいをします。

## 浅場で採食

浅場はカモ類やオオバンの食事場所。カヤツリグサ類などの湿生植物のたねや茎を食べています。

## かいぼりのとき

かいぼりのときは、排水や魚取りなどの工程に対応して、集まってくる鳥や、よそへ移動していく鳥など、さまざまな場面を観察できます。かいぼりが終わると、何事もなかったように元の生活に戻ります。

### カルガモやコガモ

水際の泥地に採食しにきます。

### サギ類

せまくなった水面、滞筋（水路）に集まって魚をねらいます。

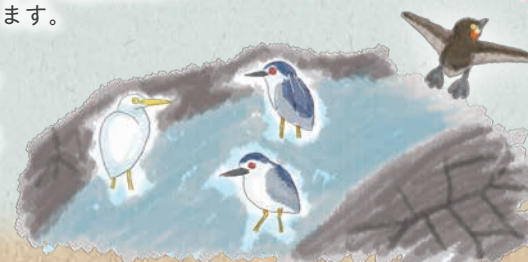
### カイツブリやキンクロハジロ

水位が下がり始めるといなくなります。

さよーなら〜

### カワウ

水面がせばまって魚を捕りやすくなると集まってきますが、潜水できなくなるといなくなります。



## 広い水面

オオバンやキンクロハジロは、潜水して池底のツツイトモや緑藻類（アオミドロなど）をついばみます。カイツブリは小魚やエビ類、カワウはギンブナなどの大きめの魚を捕らえます。

## 枝やロープ柵

カワセミはロープ柵や水面上の枝にとまって魚やエビをねらいます。チーッという高い声を頼りに探してみましよう。

## 水鳥に関する取組

### 浅場の整備

池底の土砂を岸边に寄せて段を作り、湿生植物が生育できる浅い場所を整備しています。作業には

一般市民や井の頭かいぼり隊などのボランティアが協力しました。整備後は定期的な刈り取りなどをして環境を維持しています。



浅場の整備作業

### 外来魚防除

大勢の市民や行政が協力してかいぼりを行いました。在来魚やエビが回復し、カイツブリの繁殖数が増加しています。3回のかいぼりによって外来魚のオオクチバス、ブルーギルは根絶されたと思われます。

回復した在来魚やエビ類



### モニタリング

井の頭かいぼり隊が月2回調査を行い、水鳥の種類と羽数を記録しています。

モニタリングの様子



## エサやり不要

野生の鳥類は自然の中にある食物で生活しています。

Do not feed the wildlife. Outside food adversely impacts the ecosystem and water quality.

## 最新情報はこちら

自然の様子、イベント案内、モニタリング結果などを公開しています。

井の頭恩賜公園 Inokashira Park  
公式ホームページ

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jimusho/seibuk/inokashira/>

井の頭公園

